



本との出会い

校長 勝本 祥治

先日、児童生徒にお薦めする本を紹介してほしいという依頼がありました。そのときの紹介文を学校だよりに掲載します。

書名 冒険者たち ガンバと十五ひきの仲間
著者 斎藤 惇夫
出版社 岩波書店
推薦文

ドブネズミのガンバとその仲間たちは、イタチと戦う島ネズミを助けるために夢見が島に渡るようになります。果たしてどんな結末が待っているでしょうか。わくわく、はらはら、どきどきが止まらない物語をぜひお楽しみください。私に読書の楽しさを教えてくれた一冊です。この本が気に入った人は、ガンバが登場する「クリックの冒険」、「ガンバとカワウソの冒険」もぜひ読んでみてください。

さて、十月二十七日から十一月九日は「読書週間」です。昭和二十二年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと十一月十七日から、第一回『読書週間』が開催されました。そして、第

二回からは、文化の日を中心とする週間と定められ、全国に広がっていき

本校でも、読書意欲を高め、継続して読書しようとする態度を育てるために、十月十一日から二十一日までを「校内読書週間」と定め、読書郵便や先生方・保護者の皆様による読み聞かせなどを実施しています。読書をすれば、語彙力や文章力が身に付き、想像力が豊かになる、教養や知識が得られるなどの効果があると言われます。しかし、まずはテレビやゲームと同じ、いそぎれ以上に読書は楽しいという経験を、子どもたちにしてもらいたい。そして、そのときにしか味わえない感動を与えてくれる本と出会うほしいと思っています。「冒険者たち」と出会い、読書の楽しさを知り、身近に本のある生活を続け、充実した毎日を過ごしていると感じています。

今年の読書週間の標語は、「この一冊に、ありがとう」です。感謝したくなるようなすばらしい



鹿児島市立生見小学校
鹿児島市 喜入生見町
1365番地
TEL-343-0009

今月の一句
紅葉し
バトンをつなぐ
千貫平
生見 終真



生見小学校 第76回運動会開催

気持ちのよい秋空の下、生見小学校第76回秋季運動会が開催されました。

今年度は、児童とその親族、来賓と地域の代表者に参加してもらって3年ぶりに地域種目を入れた運動会となりました。まだ、校区全体で実施するまでにはいたっておりませんが、限られた参加者で大いに盛り上げることができた素晴らしい運動会となりました。少人数の学校ならではの、児童は休む間もない運動会でしたが、開閉会式から競技、係の仕事など、どの場面でも全力で頑張る姿を見せてくれました。今年度は、白組の優勝でした。しかし、どちらの組も「生見っ子 みんなの力で勝ち取れ 優勝！」のスローガンの言葉どおり、最後まで勝利を目指してチーム一丸となって頑張っていました。

また、今年度は生見校区の伝統的な踊り「おた踊り」を保護者と児童と一緒に踊るという新たな挑戦もあり、学校・保護者・地域が一体となった運動会となりました。



【11月の主な行事予定】

- 2日(水) 薬物乱用教室(6年)
- 4日(金) プログラミング教育(1~4年)
- 7日(月) 研究授業(3・4年)
- 9日(水) クラブ活動
- 12日(土) 土曜授業日
- 15日(火) 高齢者とのふれあい活動
- 16日(水) 委員会活動
- 17日(木) 移動図書館
- 18日(金) 漢字力テスト
- 27日(日) 学習発表会〔28日(月)：振替休日〕
- 29日(火) 市小学校音楽会(午後)



地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11月1日(火)~11月7日(月)

この期間は、学校自由参観を行っております。保護者はもとより、祖父母や親戚、地域の方の参観もできます。

「新しい生活様式」を踏まえて、マスク着用で参観していただきたいと思っております。

詳しくは、生見小ホームページか学校または校区公民館等に掲示してあるポスターを御覧ください。



南日本新聞に運動会の 「おた踊り」の様子が 掲載されました。

令和4年10月10日 南日本新聞より

鹿児島市の生見小学校運動会で保護者11人が地域の伝統芸能「おた踊り」を初めて披露した。高齢化で減り続ける踊りの継承者を増やすのが狙い。保護者らは秋晴れの下、子どもたちと息の合った踊りをみせ会場から大きな拍手を浴びた。

「おた踊り」は150年以上続く。「生見おた踊り保存会」が児童らを指導し、2000年ごろから毎年同校の運動会で披露してきた。しかし主に指導する保存会メンバーが高齢化で3人に減少。次世代の踊り手をさらに増やそうと初めて保護者にも声をかけ児童との共演を計画した。運動会前には数回の練習をこなした。2日あった運動会では、保護者らに加

父母も「おた踊り」

え13人の3〜6年生がはちまきを締め、刀と鈴のついたやりを手にして登場。スピーカー越しに歌が流れると、かけ声とともに回ったり足を上げたりして約5分間踊った。

踊り手の一人、宮原宏樹さん(47)は「足

■生見小の運動会■

の動きが難しく出来は40点。来年はもっと上手に踊りたい」と反省しきり。踊りを指導した山崎幸子さん(62)は「これをきっかけに若い人たちが保存会に入ってくれたらうれしい」と笑顔で話した。

(新澤杏菜)

伝統芸能継承に一役



伝統芸能「おた踊り」を児童らと披露する保護者ら
＝鹿児島市の生見小学校

子どもたちの作品も 掲載されました。

「若い目」

令和4年9月28日 南日本新聞より

こわいな、台風14号
生見小4年 梶 望乃
台風14号がやって来ました。来てほしくないと思っていました。とても大きくて強い台風です。となりの家のひいばあちゃんもあぶないから心配で、昨日からうちにひなっています。

波がていぼうの上をこえるほどで、とてもおこったです。心配になって、何度も海の様子を見に2階に行きました。夕方ぐらいいから電になりまし。テレビも電とも急に消えまし。とっせん暗くなつて

びつくりしました。ランタンやろうそくをつけ、早めに夜ごはんも食べました。一ばん中電かなと思つて、水で顔だけあらつていました。

でも2時間ぐらいつきまると急に明かりがつかました。家の中だけでなく、わたしの心まで明るくなった気がしました。おかげであつたかいお風呂にも入れました。

外では木が折れたり、ペランダがびしょびしょになつたりしてました。犬もかわいそうで、やっぱり台風はきてほしくないな、と思いました。

(鹿児島市)

オセモコ「こども 五七 GO!」

令和4年8月24日 南日本新聞より

南日本新聞 『オセモコ』 こども五・七・GO! 掲載作品

かなうかな
きれいな星に
ねがいごと

濱村 栗